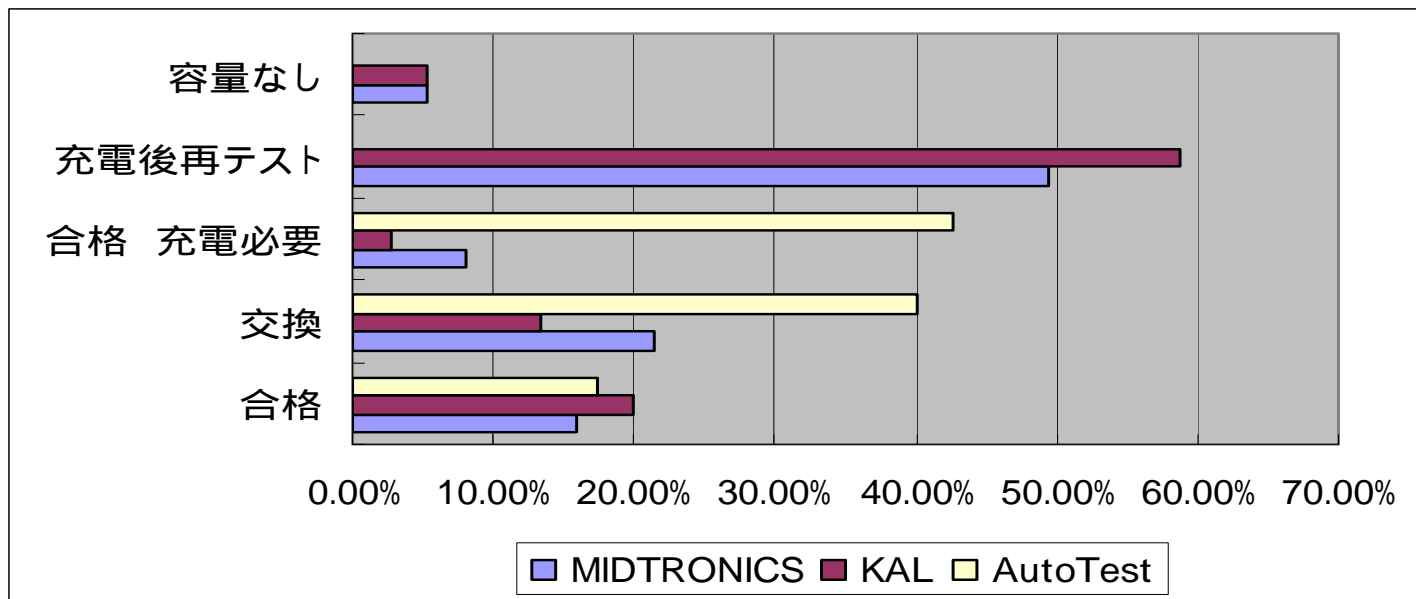


AutoTest

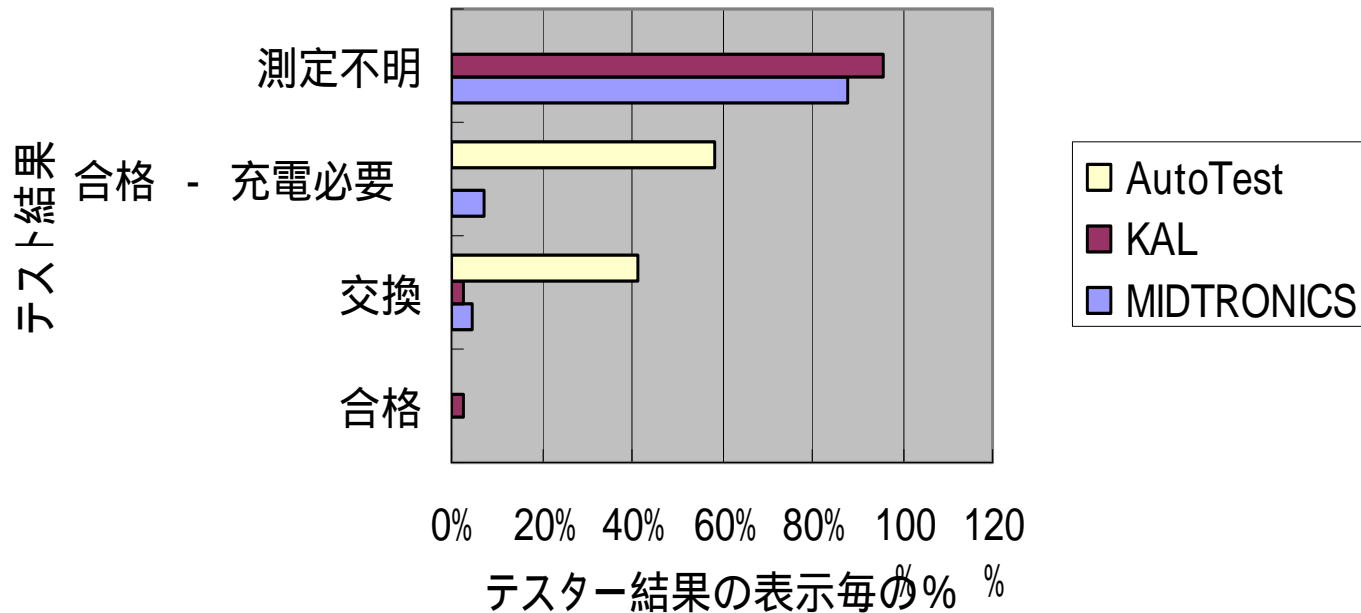
(オートテスト)アナライザと競合品との
比較

75個のバッテリーを3種類のテスターで測定した結果



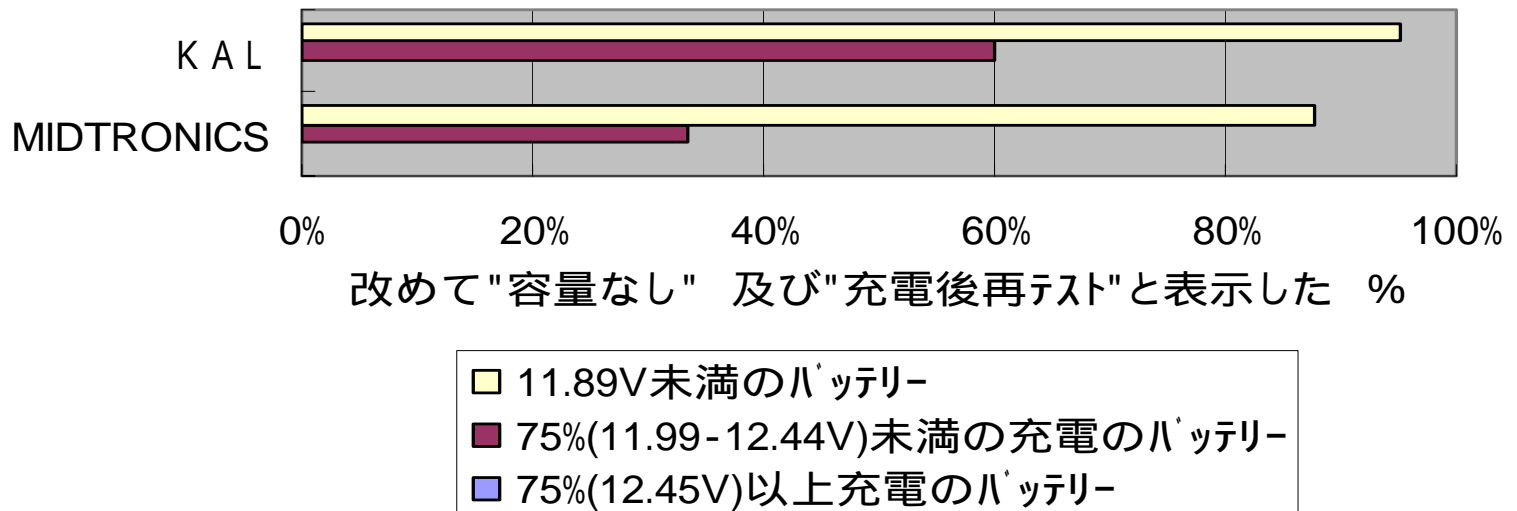
- MIDOTRONICS社、KAL社のテスターは、“容量なし”、及び“充電後再テスト”との結果を41個のバッテリーに対し表示した。次のテストは、容量なし、充電後再テストの表示を測定不明という分類で次のテストを行った。

3種類のテスターによる41個の放電したバッテリーの測定結果



- このテスト結果から、AutoTestは、測定不明(容量なし、または、充電後再テスト)という結果をださず、全てのバッテリーに対し、交換が必要であるものと、充電すればOKという結果のみを表示した。他の2つのテスターは、測定不明(容量なし、または、充電後再テスト)を表示しました。
- 測定不明のバッテリーに対して、さらにテストしました。 次のグラフ参照。

AutoTest以外のテスターで、測定不明及び充電後再テストと表示した
バッテリーを各充電条件で再テスト



- 41個の測定不明としたテスター2種類に対し、フル充電したもの、75%未満(11.99V-12.44V)までのもの、11.99V未満のバッテリーにわけてテストを行ったが、75%未満のものは、2つのテスターは、"容量なし"、あるいは、"充電後再テスト"と判断した。これは、フル充電でないものは、正確な測定ができないことを示している。AutoTestは、これらのバッテリーを、"合格だが充電必要"と"交換"の測定結果を、放電した状態でも表示した。

オートテストでは、放電したバッテリーを適切に測定しますが、他の2つのテスターは、以上の結果より、容量なしあるいは、充電後再テストと表示します。以下の写真のように危険な状態でも放電していた場合、適切な測定結果ができないのです。

充電中にセルがダメージを受けた場合...



オートテストでは、“セル欠陥ジャンプスタート注意”と表示します。が、他のテスターでは、“充電後再テスト”と表示します。

結果として、

- オートテストは、他のテスターと違い、放電したバッテリーも適切に測定する。
- オートテストは、表面電圧に左右されずに測定をする。
- 車両に装着されているバッテリーも適切に測定し、バッテリーのみならず、オルタネーター、浮遊電流も同時測定する。